



UQ WiMAXが創る真のモバイル・ブロードバンドの世界

UQコミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長 たなか たかし 田中 孝司



1. はじめに

私は、現在、KDDIのソリューション事業部門担当の常務と、UQコミュニケーションズの社長を担当していますが、今日は、WiMAXについてのお話ということで、UQの立場でお話をさせていただきます。

タイトルは「UQ WiMAXが創る真のモバイル・ブロードバンドの世界」としました。社名のUQは、世界レベルの質の高いサービス「Universal Quality」を提供していくということから名づけたものです。

私は、既存の第3世代携帯電話システム（以下3G）によるモバイル・インターネットは、本来のモバイル・インターネットではないのではないかと感じています。我々がこれからWiMAXを使って目指すものこそ、本当の意味でのモバイル・ブロードバンドであると思っています。本日は、なぜそう思っているのかということについて、お話しさせていただきます。

2. 電話の進化：一家に1台から1人1台へ

私が、KDDIの前身である通信事業会社に入社したのが昭和56年ですから、もう28年も前になります。当時は、まだまだ電話が主流の時代でした。一家に1台、固定電話があるという時代でした。その後、技術もサービスも向上し、10年ほど前にはすっかりコードレス電話が普及して、電話のできる範囲が電話機から数メートルという時代になり、現在では携帯電話により、どこからでも電話が可能ということになりました。それも、日本国内だけでなく、海外とローミングしているので、携帯電話さえあれば、世界じゅうどこでも電話で話ができるという時代になりました。

私は、電話の進歩はこの辺で終わるのではないかと考えています。

3. PC（インターネット）の進化：デスクトップ型（屋内利用）からミニPC（屋外利用）へ

電話をりょうがする通信端末として、パーソナルコンピュータ（PC）が出現しました。15年前にWindowsというソフ

トが出現して、一般家庭にもコンピュータが入ってきました。当時はデスクトップ中心であり、インターネットの利用も固定電話回線を使い、モデムを介してダイヤルアップでつながる時代でした。5年ぐらい前になりますと、ノートブック型のPCが普及し始めます。日本は現在、世界で最もノートPCが普及している国であり、ADSLやFTTHも普及し、家の中でもかなりの割合で無線LANが普及していると思います。ケーブルをつなぐという時代から、家庭のどこからでも高速のインターネットが楽しめる時代になりました。

最近では、PCの小型・軽量・省電力化が進み、低価格のミニPCも出てきています。小型・軽量のPCに、3Gの通信カードや、PHSのモバイルカードをつなげば、屋外・屋内を問わずインターネットが楽しめるという時代が、やっと来たのかという思いがしています。でも、3Gの通信カードだとまだまだスピードが遅く十分とは言えませんね。

4. UQが目指す世界

我々は今、インターネットの世界をどこからでもブロードバンドで楽しめるような時代を創っていきたくと考えています。携帯電話の画面上でちょっとしたコンテンツを見るだけでなく、PCサイズの画面で、インターネットが持つ魅力をどこからでも利用可能にする世界を創りたいと思っています。

いつでも、どこでも、誰もが、あらゆるものが

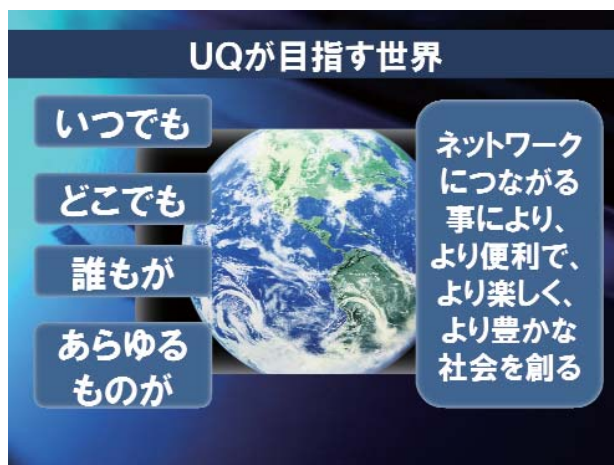


図1. UQが目指す世界



クにつながるにより、より便利に、より楽しく、より豊かな社会を創る、これが本当の意味でのインターネット、本当の意味でのモバイル・ブロードバンドの世界を実現するということだと思います (図1)。

5. UQ WiMAXの特徴

我々が提供するUQ WiMAXとは、世界基準のフューチャー・ブロードバンドであるとうたっています。WiMAX自体は世界標準であるIEEE802.16eという規格でできていますが、WiMAXには次のような五つの特徴があります (図2)。

第1は、High Speedです (図3)。今の3Gに比べ、明らかに速度が違う。皆さんは、電話回線経由のダイヤルアップでインターネットにつないでおられた時代からADSLがやってきて世の中が変わったという体験をお持ちかと思いますが、そういった変化をモバイルでも創っていききたいということです。規格上は、下り40Mbps、上り10Mbpsですが、実際的な利用形態では、下りは大体10Mbpsぐらい、上りも数Mbps出ます。このくらいのスピードがあれば、大きなファイルも送信可能でし、動画も楽々見られます。

第2はMobilityです (図4)。無線LANは、Hot Spotなどのある特定エリアでしか使えませんでした。我々のUQ WiMAXは街のどこからでも利用できるようにする予定で、無線LANとの違いはこのMobilityにあります。

第3はAlways On、常にネットワークにつながった状態になっているということです (図5)。今の3G、若しくは昔の固定のダイヤルアップは、電話番号を回してアクセスポイントにつなげる作業が必要でしたが、WiMAXは常につながった状態にあります。

第4はGlobal Standardです (図6)。現在、世界110か国以上でWiMAX普及の動きが見られます。既に、韓国のKTが提供している「WIBRO」、アメリカのClearwireが提供している「Clear」がありますが、恐らくUQが大きなところで世界

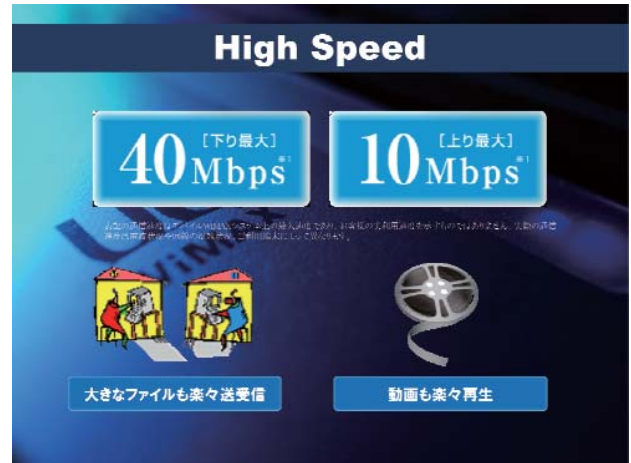


図3. High Speed



図4. Mobility



図2. UQ WiMAXの特徴

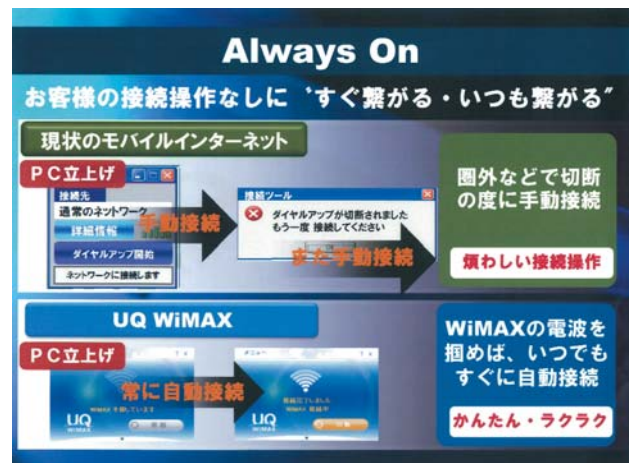


図5. Always On



図6. Global Standard

で3番目になるのではないかと思います。このほかにも、多くの国で提供が検討されているという状況です。

第5はOver The Air (OTA) で御契約・開通が可能ということですが(図7)。携帯電話の場合、auショップなり、ドコモショップに行って開通のためにROMに書き込みをしてもらう作業が必要ですが、WiMAXはショップに行かなくてもエア(無線)で契約ができます。PC+WiMAXの場合、電源を入れると何もなくてもポータルにつながりますので、希望する事業者を選択し、契約に必要なクレジットカード情報等を入れていただくとその場で利用可能になります。つまり、契約・開通がエアでできるということです。WiMAXは、PCはもちろん、冷蔵庫やテレビなどの家電製品にも入ってきますので、このOTAが大変有効となります。

今の3Gに比べ、圧倒的に速いスピードでデータ通信ができる、世界標準であるのでいろいろなデバイスに入れられ、国内でも海外でも使えるようになる。海外出張した場合でも、無線LANサービスがないところでも使えるようになるということです。



図7. Over The Air

6. UQ WiMAXのサービス展開と戦略

UQは2009年2月26日に開業しました。この日から6月末までお試し期間ということで、通信料無料、データ通信カードについても5000名のモニタ様限定で無償提供いたしました。提供エリアは東京23区と横浜市、川崎市の一部だけでした



が、7月には東名阪にまで拡張します。

また、7月1日からは有料化させていただきます。3Gは多種多様な割引プランがあり複雑ですが、UQ WiMAXは完全定額プラン「UQ Flat」一つでスタートします。定額使い放題4480円です。

「UQ Flat」のポイントは、最速のモバイル・インターネット、契約期間に2年間などの長期の縛りはなく、入会・退会は随時、そして低料金の3点です。利用可能エリアは拡張していく予定ですが、最初から十分なエリアが在るわけではないので、UQ WiMAXに加入されたら、種々のWi-Fiサービスも無料で利用できるようにしようと考えています(図8)。東海道新幹線の中でも、空港ラウンジでも、地下鉄でも使えるようにしようと考えているところです。

ハードウェアとしては、一般的なUSBタイプからカードタイプ、サイズも異なるものを4種類用意しました(図9)。さらに、既にWi-Fi機器をお持ちの方向けに、図10のゲートウェイタイプのものも考えています。これは、バックホールはWiMAXとし、家の中ではWi-Fiのアクセスポイントとしてお使いいただけるものです。

7. WiMAXが創る新しい未来

2012年度末までには、全国の90%以上の地域でUQ WiMAXサービスを御利用いただけるようにしようと計画しています(図11)。デバイスも、データ通信カードに加え、WiMAX搭載PCという形で、夏以降、多数のメーカーからWiMAXを内蔵した製品が出てくると思います(図12)。その後は、PCに比べて小型・軽量でフルのインターネットが使えるデバイス(我々はMID: Mobile Internet Deviceと言っ

図8. Wi-Fiオプションサービス

図9. データ通信カード

図10. WiMAX Wi-Fiゲートウェイ

ていますが)が出てくると考えています。さらに、その先には家庭のカメラ等にもWiMAXを入れていこうと計画しています。

また、我々自身がデバイスを提供するのではなく、いろいろなブランドの様々なテールデバイスが量販店に並ぶような形にしていきたいと考えています。

無線LAN搭載PCが普及するのに4年ぐらいかかったと言われていました。WiMAXも同じようにPCに搭載されるのに4年ぐらいかかるのではないかとされていますが、これは世界レベルの話であり、日本ではほぼ1年で新規のPCには全部WiMAXが入るのではないかと考えています(図13)。現在の無線LANと同様に、皆さんの身近なところでWiMAXが稼働しているような世界を創っていきたくと考えています。

これからは、「世界基準のフューチャー・ブロードバンド」をうたってマーケティングし、我々はWiMAXで未来を創っていきたくと考えています。お客様には、WiMAXを購入さ



図11. サービスエリア展開

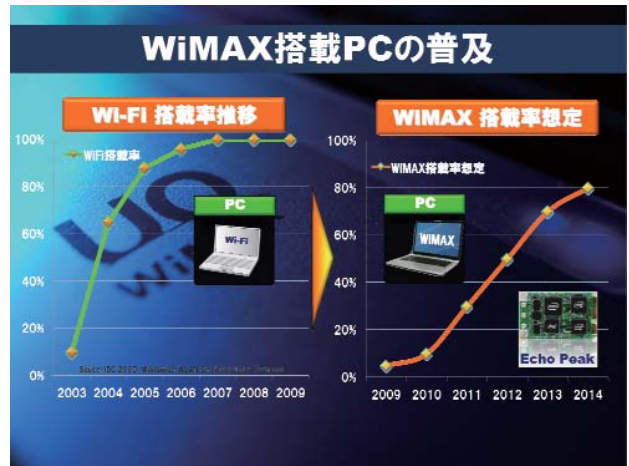


図13. WiMAX搭載PCの普及

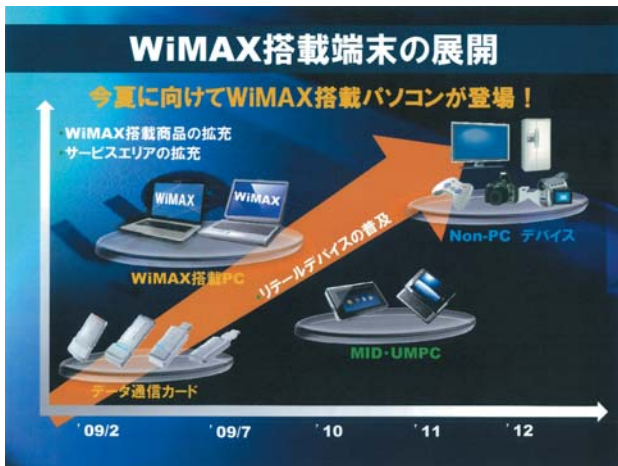


図12. WiMAX搭載端末の展開

れることにより、未来を手に入れてほしいという思いでいま
す。ぜひとも皆様に参加していただければと思います。
御清聴ありがとうございました。

(2009年4月24日第374回ITUクラブ講演より)



ITUクラブで講演する筆者